



自然体験交流会で魚を捕まえ、大喜びの子供たち

質問 決算は1年間の財務運営を主とする総結集として又将来予測の基礎として大変大事な作業と思っております。トップの方針や総合計画・新市の建設計画等にとつと、どのように運営されたのか議会の検証も責任のあるものとなります。

その視点から毎年提示されます奥州市の『決算書』は充分に説明されていないと判断致します。それは市民の皆様方から納付頂いております税金の使途についても、わかり易い説明になっていないという事でもあります。市長はどのように考えているか伺います。

市長 自治法に定められた範囲で長い間このような方式で策定されて来たものです。

質問 次年度以降最少の経費で最大の効果が得られたか等市民の皆様や議会がしっかり判断できるような資料の提示を求めます。

市長 検討致します。



地区の防災訓練に参加する児童

質問 2回の「地震」は、「休業日・夜中」でありましたが、被害状況の中で、「児童・生徒の安全」の観点から「学んだ教訓」の具体的な事柄は何か、また「地震」発生当日の「家庭訪問」や「安否確認の電話」は、「災害対策」上、様々な問題を引き起こすと考えられないのかお聞きします。

教育委員長 各学校で火災や地震に備えて、年2回〜3回の集団に



ちば ころう 議員

○教育現場での地震発生時の対応策について
○投票所の変更の請願について

よる避難訓練と児童・生徒自身の自律的な避難訓練を実施していますし、避難経路の落下物や倒壊物の点検、防火扉への対応の仕方などを教えています。また、「地震」当日の「家庭訪問」は、教育長が「衣川小学校」に行き指示しており、「電話」等による児童・生徒の「安否確認」は、「県教育委員会からの指示」でした。

質問 3月議会で採択された「投票所の変更の請願」は、地元住民の署名と共に提出され、総務常任委員会でも厳しい審査、調査をうけ、本議会においても激しく議論されて「採択」されたものです。採択されて半年にもなりますが、その後の進捗状況をお聞きします。

選挙管理委員長 請願の趣旨は尊重しますし、議会で採択されたことは重く受けとめています。しかし、昭和44年の旧自治省の「1投票所3千人の基準」があり、請願地区の有権者を加えると、その投票所は基準の3千人を超えることになります。現段階では、投票率の低い若年層対策を講じていき、その後、全市的に改善する中で、請願された地区も含めて検討していきます。



あべ ゆきこ 議員

○「食育推進計画」の策定について
○乳ガン、子宮ガンの検診の向上について

質問 「食育推進計画」の策定について伺います。国では平成17年7月「食育基本法」が施行され食の憲法とも言われております。市町村において県などが作成した基本計画を元に推進計画を作成するよう努めなければならないのですが、奥州市の取り組みはどのようになっているのか伺います。

市長 「食育」は生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育む上で重要な要素であると考えられます。奥州市の地域性を生かした「食育推進計画」の策定に向けて取り組んで参ります。

質問 乳ガン、子宮ガン検診の向上について伺います。30歳から60歳代の各年代層で乳ガンでの死亡率が1番となっております。受診年齢の引き下げや隔年受診から毎年受診への拡充が早期発見、早期治療につながる最善の対策だと考えます。市の取り組みについて伺います。